

《共通科目》

授業科目名	コンサルテーションⅡ <i>Consultation in Nursing Practice II</i>			担当教員	高橋 清美
開講年次	1年後期	セメスター	2	時間数(単位数)	15(1)
必修選択	選択	授業形態	講義	使用教室	
授業の目的	コンサルテーションに関する基本的知識、コンサルテーションモデルを基に、コンサルテーション事例や演習を通して、専門看護師が実践するコンサルテーションに必要な臨床判断、目標設定、問題解決の方略や技術を修得する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンサルテーションモデルを理解する。 2. 専門看護師が行うコンサルテーションに必要な判断、知識、問題解決のための方略を理解する。 3. 専門領域における模擬コンサルテーションを通して、コンサルタントの役割、コンサルテーションプロセス、評価方法を理解する。 				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1回：コンサルテーション論（講義） コンサルテーション論の歴史的背景やコンサルテーションのタイプ、モデルについて理解する。 2回：文献抄読 Advanced Practice Nursing An integrative approach 5th edition の Chapter7 Consultation を読み、専門看護師によるコンサルテーションモデルを理解する。 3回：専門看護師によるコンサルテーション①（講義） 専門看護師が行うコンサルテーションのタイプの違いによるコンサルタントの役割や目標設定、介入計画、評価方法について習得する。 4回：専門看護師によるコンサルテーション②（講義） 専門看護師が行うコンサルテーションのタイプの違いによるコンサルタントの役割や目標設定、介入計画、評価方法について習得する。 5回：事例検討（1） コンサルテーションのタイプ別事例を通して、専門看護師が行うコンサルテーションに必要な判断、目標設定、解決のための方略を検討する。 6回：事例検討（2） コンサルテーションのタイプ別事例を通して、専門看護師が行うコンサルテーションに必要な判断、目標設定、解決のための方略を検討する。 7回：模擬コンサルテーション課題演習（プレゼンテーション）（1） 専門領域における模擬コンサルテーション事例を作成し、専門看護師としての判断、目標設定、解決のための方略を立案する。 8回：模擬コンサルテーション課題演習（プレゼンテーション）（2） 専門領域における模擬コンサルテーション事例を作成し、専門看護師としての判断、目標設定、解決のための方略を立案する。 				
学習方法	講義、グループディスカッションを通して、専門看護師が行うコンサルテーションの実際、コンサルタントの役割について理解を深める。模擬コンサルテーション事例を通して、専門領域におけるコンサルテーションを実践的に理解する。				
オフィスアワー	メールでの相談等を受け付けます。高橋：k-takahashi@jrckicn.ac.jp				
テキスト	川野雅資：コンサルテーションを学ぶ，東京，クオリティケア，2013. Hamric, A.B. : Advanced Practice Nursing An integrative approach 6 th edition, Saunders, 2018.				
参考文献	適宜紹介します				
評価方法	授業への参加度（60％） 課題プレゼンテーション（40％）				